

広島市立安佐市民病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください

| | |
|-----------------|--|
| 研究課題名 | NBI-TUR で病理診断が pT1・high grade であった膀胱癌に対する 2nd TUR の検証 |
| 研究責任者 (所属科名) | 泌尿器科 主任部長 三田耕司 |
| 本研究の目的・意義 | <p>さまざまな光学技術による診断技術の進歩によって従来の白色光 (White light imaging: WLI) では網羅しにくい病変部位の同定が可能となりつつある。</p> <p>Narrow band Imaging (NBI) は WLI を 2 つの波長に狭帯化することによって粘膜表面の毛細血管を強調する技術であり、従来の WLI に比較して有意に多くの病変部を網羅できることが報告されている。</p> <p>一方、従来の WLI による観察下の Transurethral resection (TUR) では T1/High grade の NMIBC に対する 2nd TUR において残存病変を高率に有する事が報告され、一部の症例では 2nd TUR によって局所再発や進展の防止が期待される。</p> <p>しかしながら、NBI を用いた初回 TUR によって T1/High grade と診断された Non-muscle invasive bladder cancer (NMIBC) に対する 2nd TUR の治療成績はほとんど知られていない。</p> <p>そこで今回、NBI を用いた TUR で病理診断が pT1・high grade であった NMIBC に対する 2nd TUR を検討し、NBI-TUR の治療成績について後方視的に検証した。</p> |
| 調査方法・調査期間 | 2010 年 4 月 1 日から 2017 年 3 月 31 日までに安佐市民病院泌尿器科で膀胱腫瘍に対し経尿道的手術を受けられた方の情報を調査します。調査期間は 2018 年 6 月 1 日から 2018 年 12 月 31 日までです。 |
| 該当資料・データ | <p>★対象となる患者様</p> <p>2010 年 4 月 1 日から 2017 年 3 月 31 日までに安佐市民病院泌尿器科で膀胱腫瘍に対し経尿道的手術を受けられた方のうち、病理診断が pT1・High grade で治療切除と判断し、4~8 週間後に経尿道的手術再手術 (2nd TUR) を施行した筋層非浸潤性膀胱癌の患者さん。</p> <p>★利用する情報</p> <p>電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。</p> |
| 個人情報の取り扱い | 利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報 |

| | |
|-------------------|---|
| | 報は削除致します。また、研究成果は学会・学術論文で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は一切利用しません。 |
| 共同研究機関 | なし |
| 本研究の資金源 (利益相反) | 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。 |
| お問い合わせ先 | 広島市立安佐市民病院 泌尿器科 主任部長 三田耕司 電話：082-815-5211 (代表) |
| 備考 | |